

尾 三

尾道支局 0848(22)5258 FAX(20)0052
 三原支局 0848(62)3676 FAX(60)0094
 因島ブレイション 0845(22)0766 FAX(26)0017
 世羅支局 0847(22)0372 FAX(25)0017

地域医療維持へ 広島大から医師

因島総合病院

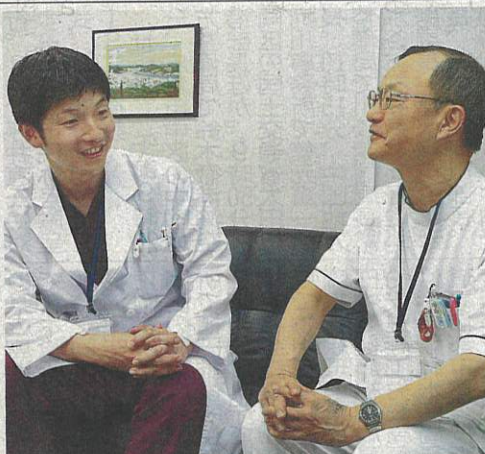
尾道市の島しょ部などの医療を支える因島総合病院(因島土生町)に今月、広島大からの非常勤医師が赴任した。同病院は岡山大の関連病院で、約100年の歴史で同大関連ではない医師が派遣されるのは珍しい。リウマチ治療などの充実を目指す。(村島健輔)

リウマチを診療

広島大病院リウマチ・膠原病科の徳永忠浩(とくながただひろ)医師(39)が4日から毎週水曜、リウマチ外来の午後の診療と内科の夜間当直を担当している。徳永医師は「専門の経験を積むとともに、救急など内科医として総合的な力を付けたい」と意気込む。因島総合病院の1日現在の医師数は常勤5人、非常勤55人。医師不足が課題となる中、2016年度から広島大に医師派遣を働き掛けていた。同病院の橋

本洋夫病院長は、「広島大の配慮に感謝する」と話している。

1917年設立の因島総合病院は、旧因島市、旧瀬戸田町、愛媛県上島町の圏域で唯一の救急指定病院。設立当初の一時を除き、医師は全て、岡山大や関連病院から派遣され



橋本病院長(左)と談笑する徳永医師

ていた。岡野芳和事務部長は「地域医療を守るため、岡山大の理解を得ながら幅広く医師の確保に努める」と説明する。橋本病院長は「地元のリウマチ患者さんは東広島市や広島市などに通うケースが多い。徳永医師の加入によりリウマチ診療を病院の特色としてさらに充実させる」と力を込める。